2026年9月末

三井住友海上プライマリー生命の「投資型年金」

スペクタクル

年金原資保証特約付新変額個人年金保険

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
グローバルバランス30	バランスファンドVA30B	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	1
グローバルバランス40	バランスファンドVA40B		2
グローバルバランス50	バランスファンドVA50B		3
国内重視バランス30	バランスファンドVA30A		4
国内重視バランス40	バランスファンドVA40A		5
国内重視バランス50	バランスファンドVA50A		6
マザーファンドの状況			7
マネー型	フィデリティ・マネー・プールVA	フィデリティ投信株式会社	9

三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

MSPL-2010-B-0418-00

特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命のスペクタクル〔年金原資保証特約付新変額個人年金保険〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、［組入投資信託の運用状況］に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。

・［組入投資信託の運用状況］は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。

・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

特にご注意いただきたい事項

この保険における年金原資の最低保証は、被保険者の年齢が 70 歳、80 歳、または 90 歳を迎えた後の契約応当日から年金で受取ることにより保証されますので、積立期間中に解約した場合、据置期間付定額年金に移行した場合、年金受取開始日を繰上げ（短縮）した場合、および年金受取開始時または年金受取期間中に年金受取にかえて一括受取した場合には、年金原資の最低保証はありません。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項　目	目　的	費　用	時　期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.15%*	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

＊ 年金原資保証特約の費用（積立金額に対して年率 0.3%）を含みます。

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
グローバルバランス30	0.33%程度
グローバルバランス40	
グローバルバランス50	

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
国内重視バランス30	0.33%程度
国内重視バランス40	
国内重視バランス50	

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
マ　ネ　ー　型	0.00935%～0.55%程度*

＊ 前月の最終営業日を除く最終 5 営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。

ご注意

・資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項　目	費　用		時　期
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円／回	移転時に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して 1～8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して 1～8%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日（増額日）からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	**8%**	**8%**	**7%**	**7%**	**6%**	**5%**	**4%**	**3%**	**2%**	**1%**	**0%**

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項　目	費　用	時　期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

特別勘定の名称：グローバルバランス30

バランスファンドVA30B

スペクタクル

作成基準日: 2026年9月30日

バランスファンドVA30B<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ㈱

ファンドの特色

①日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
②基本配分比率は国内株式15%、国内債券35%、外国株式15%、外国債券35%とします。
③上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
④実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
⑤運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	27,419円	-620円
純資産総額	228百万円	-29百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	15.3%	15.0%	0.3%
日本債券マザー	35.1%	35.0%	0.1%
外国株式マザー	14.9%	15.0%	-0.1%
外国債券マザー	34.7%	35.0%	-0.3%
コール他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対信託財産純資産総額比

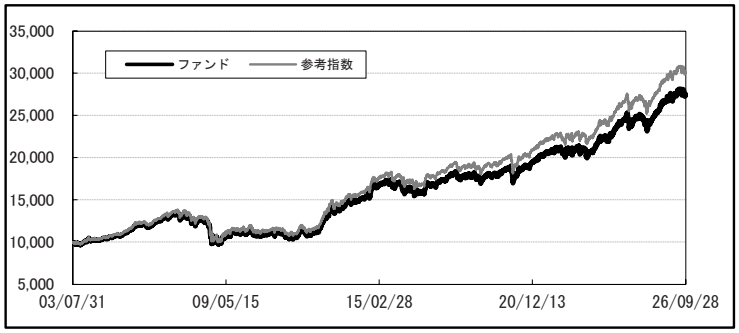
基準価額の騰落率

ファンド設定日:2003/8/1

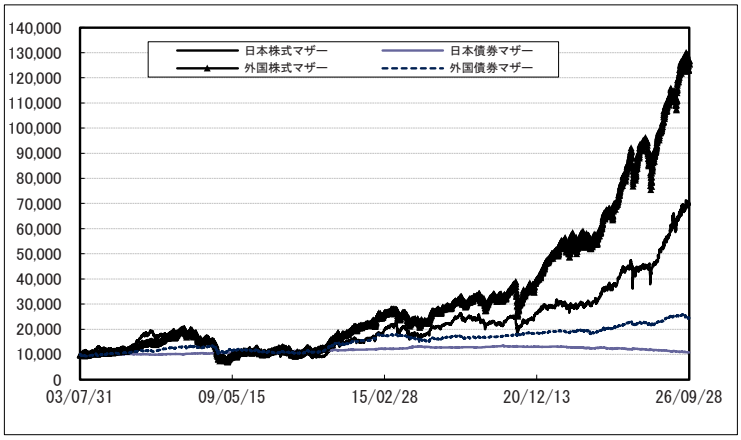
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.21%	-1.53%	-2.33%	2.77%	6.48%	23.04%	174.19%
参考指数	-2.18%	-1.48%	-2.25%	3.00%	6.96%	24.53%	200.83%
差	-0.03%	-0.05%	-0.08%	-0.23%	-0.49%	-1.49%	-26.64%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移（当ファンド）



【ご参考】マザーファンドの推移



注:2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】9月の国内株式市場は、月前半は中東情勢の不透明感に伴う原油高と日米長期金利の上昇を受け、ハイテク株を中心に高バリュエーション株が軟調となりました。その後も、世界的な金利上昇が市場の下押し圧力となりましたが、AI(人工知能)関連株を中心とした好業績銘柄への期待感が相場を下支えしました。
【国内債券】9月の国内債券市場は、日銀による追加利上げに加え、海外金利の上昇を背景に長期金利は上昇しました。日銀会合では市場予想通り25bpの利上げが決定されたものの、次回以降の利上げ時期を具体的に示唆する情報はなかったことが市場ではハト派的と受け止められました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.11%上昇の3.07%となりました。
【外国株式】9月の外国株式市場は、月前半に中東情勢を巡る不透明感の再燃と、米利上げ観測の高まりを背景に、軟調な展開となりました。月後半にかけては、堅調な企業業績に対する期待感が一定の下支えとなったものの、世界的な長期金利の上昇への懸念が重荷となりました。
地域別の騰落率は、米国市場が約0.4%の下落、欧州市場が約2.2%の下落、アジア市場が約2.4%の下落となりました。
【外国債券】9月の外国債券市場は、FRBによる追加利上げに加え、原油価格上昇を背景としたインフレ懸念の高まりや高金利環境の長期化観測を受けて、長期金利は上昇しました。月末にはインフレ指標が市場予想を下回ったものの、債券市場では追加利上げ観測が引き続き意識され、長期金利は高止まりしました。米10年国債利回りは前月末比0.53%上昇の5.28%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧誘を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象にはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

作成基準日: 2026年9月30日

バランスファンドVA40B<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ㈱

ファンドの特色

①日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
②基本配分比率は国内株式20%、国内債券30%、外国株式20%、外国債券30%とします。
③上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
④実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
⑤運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	32,966円	-717円
純資産総額	22百万円	-0百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	21.0%	20.0%	1.0%
日本債券マザー	29.8%	30.0%	-0.2%
外国株式マザー	20.4%	20.0%	0.4%
外国債券マザー	28.7%	30.0%	-1.3%
コール他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対信託財産純資産総額比

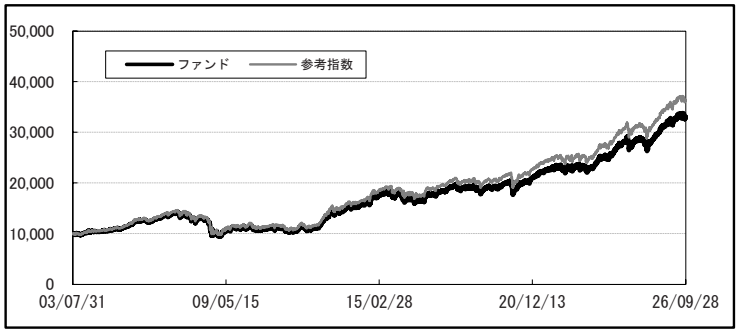
基準価額の騰落率

ファンド設定日:2003/8/1

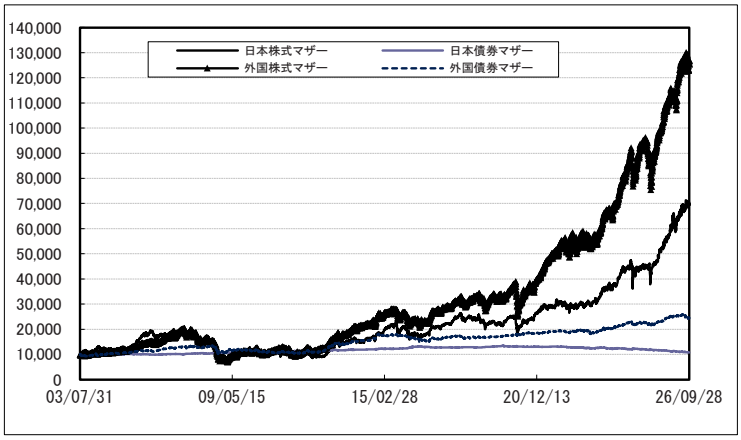
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.13%	-1.04%	-1.73%	4.84%	9.44%	31.26%	229.66%
参考指数	-2.11%	-1.04%	-1.69%	5.05%	9.85%	32.57%	262.75%
差	-0.02%	-0.01%	-0.04%	-0.21%	-0.40%	-1.31%	-33.09%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移（当ファンド）



【ご参考】マザーファンドの推移



注:2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】9月の国内株式市場は、月前半は中東情勢の不透明感に伴う原油高と日米長期金利の上昇を受け、ハイテク株を中心に高バリュエーション株が軟調となりました。その後も、世界的な金利上昇が市場の下押し圧力となりましたが、AI(人工知能)関連株を中心とした好業績銘柄への期待感が相場を下支えしました。
【国内債券】9月の国内債券市場は、日銀による追加利上げに加え、海外金利の上昇を背景に長期金利は上昇しました。日銀会合では市場予想通り25bpの利上げが決定されたものの、次回以降の利上げ時期を具体的に示唆する情報はなかったことが市場ではハト派的と受け止められました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.11%上昇の3.07%となりました。
【外国株式】9月の外国株式市場は、月前半に中東情勢を巡る不透明感の再燃と、米利上げ観測の高まりを背景に、軟調な展開となりました。月後半にかけては、堅調な企業業績に対する期待感が一定の下支えとなったものの、世界的な長期金利の上昇への懸念が重荷となりました。
地域別の騰落率は、米国市場が約0.4%の下落、欧州市場が約2.2%の下落、アジア市場が約2.4%の下落となりました。
【外国債券】9月の外国債券市場は、FRBによる追加利上げに加え、原油価格上昇を背景としたインフレ懸念の高まりや高金利環境の長期化観測を受けて、長期金利は上昇しました。月末にはインフレ指標が市場予想を下回ったものの、債券市場では追加利上げ観測が引き続き意識され、長期金利は高止まりしました。米10年国債利回りは前月末比0.53%上昇の5.28%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧誘を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象にはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

スペクタクル

作成基準日: 2026年9月30日

バランスファンドVA50B<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ㈱

ファンドの特色

①日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
②基本配分比率は国内株式25%、国内債券25%、外国株式25%、外国債券25%とします。
③上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
④実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
⑤運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	39,942円	-846円
純資産総額	56,978百万円	-1,869百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	25.6%	25.0%	0.6%
日本債券マザー	24.9%	25.0%	-0.1%
外国株式マザー	25.1%	25.0%	0.1%
外国債券マザー	24.4%	25.0%	-0.6%
コール他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対信託財産純資産総額比

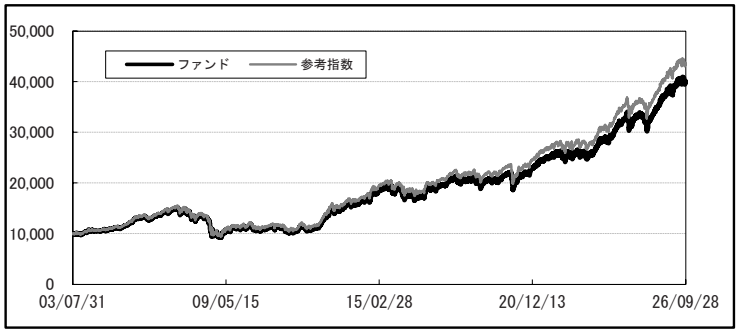
基準価額の騰落率

ファンド設定日:2003/8/1

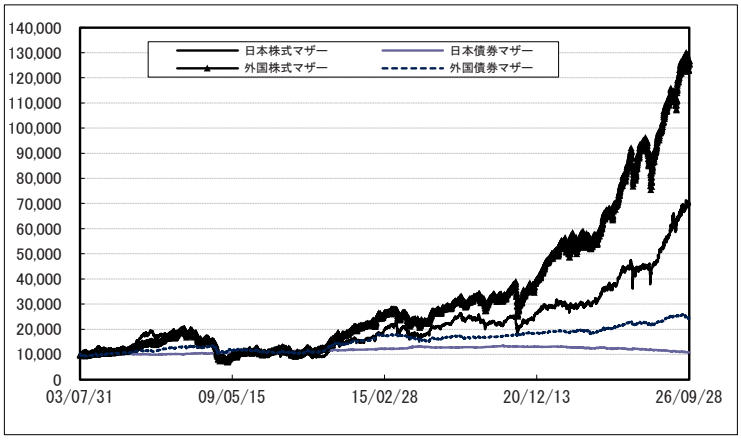
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.07%	-0.63%	-1.21%	6.87%	12.28%	39.69%	299.42%
参考指数	-2.03%	-0.59%	-1.13%	7.13%	12.78%	41.06%	335.23%
差	-0.04%	-0.04%	-0.08%	-0.26%	-0.50%	-1.37%	-35.81%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移（当ファンド）



【ご参考】マザーファンドの推移



注:2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】9月の国内株式市場は、月前半は中東情勢の不透明感に伴う原油高と日米長期金利の上昇を受け、ハイテク株を中心に高バリュエーション株が軟調となりました。その後も、世界的な金利上昇が市場の下押し圧力となりましたが、AI(人工知能)関連株を中心とした好業績銘柄への期待感が相場を下支えしました。
【国内債券】9月の国内債券市場は、日銀による追加利上げに加え、海外金利の上昇を背景に長期金利は上昇しました。日銀会合では市場予想通り25bpの利上げが決定されたものの、次回以降の利上げ時期を具体的に示唆する情報はなかったことが市場ではハト派的と受け止められました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.11%上昇の3.07%となりました。
【外国株式】9月の外国株式市場は、月前半に中東情勢を巡る不透明感の再燃と、米利上げ観測の高まりを背景に、軟調な展開となりました。月後半にかけては、堅調な企業業績に対する期待感が一定の下支えとなったものの、世界的な長期金利の上昇への懸念が重荷となりました。
地域別の騰落率は、米国市場が約0.4%の下落、欧州市場が約2.2%の下落、アジア市場が約2.4%の下落となりました。
【外国債券】9月の外国債券市場は、FRBによる追加利上げに加え、原油価格上昇を背景としたインフレ懸念の高まりや高金利環境の長期化観測を受けて、長期金利は上昇しました。月末にはインフレ指標が市場予想を下回ったものの、債券市場では追加利上げ観測が引き続き意識され、長期金利は高止まりしました。米10年国債利回りは前月末比0.53%上昇の5.28%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧誘を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象にはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

スペクタクル

作成基準日: 2026年9月30日

バランスファンドVA30A<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ㈱

ファンドの特色

①日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
②基本配分比率は国内株式20%、国内債券50%、外国株式10%、外国債券20%とします。
③上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
④実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
⑤運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	23,714円	-358円
純資産総額	21百万円	-0百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	20.6%	20.0%	0.6%
日本債券マザー	49.8%	50.0%	-0.2%
外国株式マザー	10.2%	10.0%	0.2%
外国債券マザー	19.3%	20.0%	-0.7%
コール他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対信託財産純資産総額比

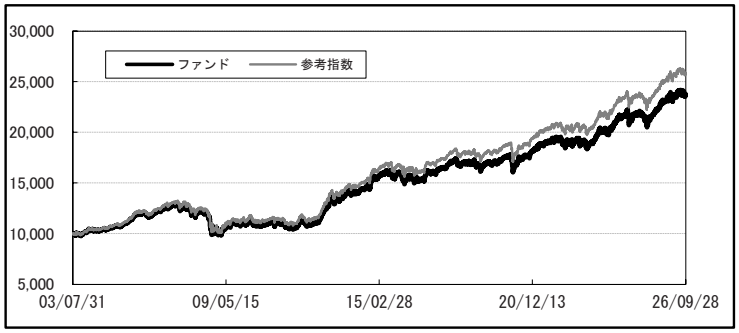
基準価額の騰落率

ファンド設定日:2003/8/1

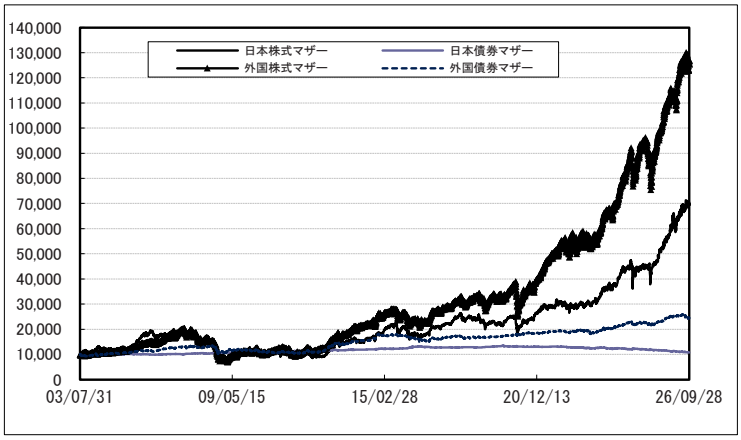
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.49%	-0.85%	-1.47%	2.86%	5.33%	17.73%	137.14%
参考指数	-1.46%	-0.82%	-1.42%	3.07%	5.71%	18.78%	157.99%
差	-0.03%	-0.03%	-0.06%	-0.22%	-0.39%	-1.05%	-20.85%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移（当ファンド）



【ご参考】マザーファンドの推移



注:2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】9月の国内株式市場は、月前半は中東情勢の不透明感に伴う原油高と日米長期金利の上昇を受け、ハイテク株を中心に高バリュエーション株が軟調となりました。その後も、世界的な金利上昇が市場の下押し圧力となりましたが、AI(人工知能)関連株を中心とした好業績銘柄への期待感が相場を下支えしました。
【国内債券】9月の国内債券市場は、日銀による追加利上げに加え、海外金利の上昇を背景に長期金利は上昇しました。日銀会合では市場予想通り25bpの利上げが決定されたものの、次回以降の利上げ時期を具体的に示唆する情報はなかったことが市場ではハト派的と受け止められました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.11%上昇の3.07%となりました。
【外国株式】9月の外国株式市場は、月前半に中東情勢を巡る不透明感の再燃と、米利上げ観測の高まりを背景に、軟調な展開となりました。月後半にかけては、堅調な企業業績に対する期待感が一定の下支えとなったものの、世界的な長期金利の上昇への懸念が重荷となりました。
地域別の騰落率は、米国市場が約0.4%の下落、欧州市場が約2.2%の下落、アジア市場が約2.4%の下落となりました。
【外国債券】9月の外国債券市場は、FRBによる追加利上げに加え、原油価格上昇を背景としたインフレ懸念の高まりや高金利環境の長期化観測を受けて、長期金利は上昇しました。月末にはインフレ指標が市場予想を下回ったものの、債券市場では追加利上げ観測が引き続き意識され、長期金利は高止まりしました。米10年国債利回りは前月末比0.53%上昇の5.28%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧誘を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象にはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

作成基準日: 2026年9月30日

バランスファンドVA40A<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ㈱

ファンドの特色

①日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
②基本配分比率は国内株式25%、国内債券45%、外国株式15%、外国債券15%とします。
③上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
④実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
⑤運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	28,309円	-406円
純資産総額	2百万円	-0百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	25.5%	25.0%	0.5%
日本債券マザー	45.0%	45.0%	0.0%
外国株式マザー	15.2%	15.0%	0.2%
外国債券マザー	14.3%	15.0%	-0.7%
コール他	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対信託財産純資産総額比

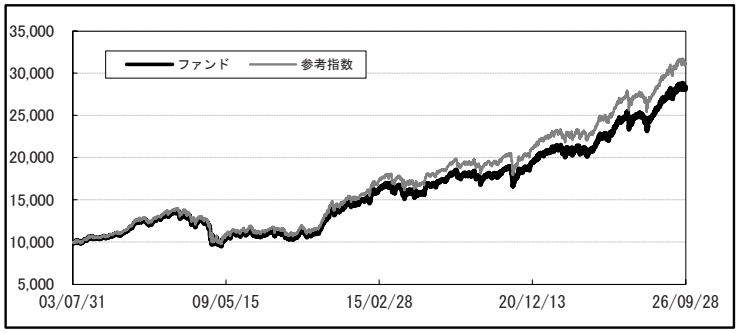
基準価額の騰落率

ファンド設定日:2003/8/1

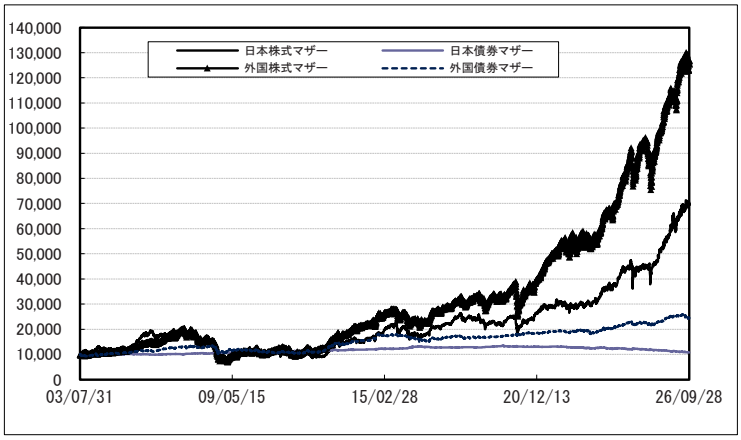
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.41%	-0.39%	-0.90%	4.95%	8.21%	25.57%	183.09%
参考指数	-1.38%	-0.37%	-0.86%	5.13%	8.56%	26.47%	211.78%
差	-0.03%	-0.02%	-0.04%	-0.19%	-0.36%	-0.90%	-28.69%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移（当ファンド）



【ご参考】マザーファンドの推移



注:2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】9月の国内株式市場は、月前半は中東情勢の不透明感に伴う原油高と日米長期金利の上昇を受け、ハイテク株を中心に高バリュエーション株が軟調となりました。その後も、世界的な金利上昇が市場の下押し圧力となりましたが、AI(人工知能)関連株を中心とした好業績銘柄への期待感が相場を下支えしました。
【国内債券】9月の国内債券市場は、日銀による追加利上げに加え、海外金利の上昇を背景に長期金利は上昇しました。日銀会合では市場予想通り25bpの利上げが決定されたものの、次回以降の利上げ時期を具体的に示唆する情報はなかったことが市場ではハト派的と受け止められました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.11%上昇の3.07%となりました。
【外国株式】9月の外国株式市場は、月前半に中東情勢を巡る不透明感の再燃と、米利上げ観測の高まりを背景に、軟調な展開となりました。月後半にかけては、堅調な企業業績に対する期待感が一定の下支えとなったものの、世界的な長期金利の上昇への懸念が重荷となりました。
地域別の騰落率は、米国市場が約0.4%の下落、欧州市場が約2.2%の下落、アジア市場が約2.4%の下落となりました。
【外国債券】9月の外国債券市場は、FRBによる追加利上げに加え、原油価格上昇を背景としたインフレ懸念の高まりや高金利環境の長期化観測を受けて、長期金利は上昇しました。月末にはインフレ指標が市場予想を下回ったものの、債券市場では追加利上げ観測が引き続き意識され、長期金利は高止まりしました。米10年国債利回りは前月末比0.53%上昇の5.28%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧誘を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象にはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

作成基準日: 2026年9月30日

バランスファンドVA50A<適格機関投資家限定>月次報告書

設定・運用:
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ㈱

ファンドの特色

①日本株式インデックス・マザーファンド受益証券、日本債券インデックス・マザーファンド受益証券、外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券、および外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
②基本配分比率は国内株式30%、国内債券40%、外国株式20%、外国債券10%とします。
③上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。
④実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。
⑤運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	34,314円	-467円
純資産総額	32百万円	-0百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	30.4%	30.0%	0.4%
日本債券マザー	40.1%	40.0%	0.1%
外国株式マザー	19.7%	20.0%	-0.3%
外国債券マザー	9.7%	10.0%	-0.3%
コール他	0.1%	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)対信託財産純資産総額比

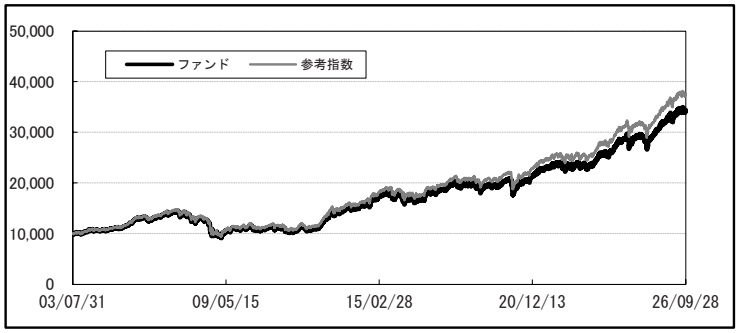
基準価額の騰落率

ファンド設定日:2003/8/1

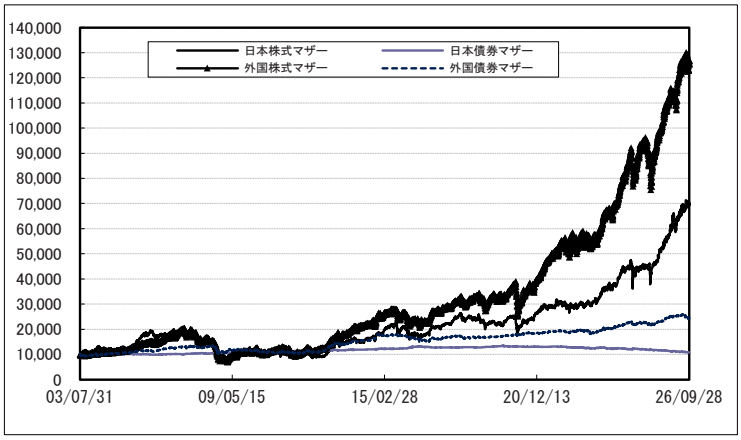
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.34%	0.01%	-0.41%	6.93%	10.88%	33.10%	243.14%
参考指数	-1.31%	0.08%	-0.29%	7.22%	11.47%	34.60%	274.93%
差	-0.03%	-0.07%	-0.11%	-0.29%	-0.59%	-1.50%	-31.79%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

基準価額の推移（当ファンド）



【ご参考】マザーファンドの推移



注:2003/7/31を10,000として指数化しています。

◇当月の市場動向◇
【国内株式】9月の国内株式市場は、月前半は中東情勢の不透明感に伴う原油高と日米長期金利の上昇を受け、ハイテク株を中心に高バリュエーション株が軟調となりました。その後も、世界的な金利上昇が市場の下押し圧力となりましたが、AI(人工知能)関連株を中心とした好業績銘柄への期待感が相場を下支えしました。
【国内債券】9月の国内債券市場は、日銀による追加利上げに加え、海外金利の上昇を背景に長期金利は上昇しました。日銀会合では市場予想通り25bpの利上げが決定されたものの、次回以降の利上げ時期を具体的に示唆する情報はなかったことが市場ではハト派的と受け止められました。この結果、日本10年国債利回りは前月末比0.11%上昇の3.07%となりました。
【外国株式】9月の外国株式市場は、月前半に中東情勢を巡る不透明感の再燃と、米利上げ観測の高まりを背景に、軟調な展開となりました。月後半にかけては、堅調な企業業績に対する期待感が一定の下支えとなったものの、世界的な長期金利の上昇への懸念が重荷となりました。
地域別の騰落率は、米国市場が約0.4%の下落、欧州市場が約2.2%の下落、アジア市場が約2.4%の下落となりました。
【外国債券】9月の外国債券市場は、FRBによる追加利上げに加え、原油価格上昇を背景としたインフレ懸念の高まりや高金利環境の長期化観測を受けて、長期金利は上昇しました。月末にはインフレ指標が市場予想を下回ったものの、債券市場では追加利上げ観測が引き続き意識され、長期金利は高止まりしました。米10年国債利回りは前月末比0.53%上昇の5.28%となりました。

☆この報告書は、受益者の皆様へ当ファンドの運用状況をお伝えすることを目的として作成したもので、投資の勧誘を目的とするものではありません。☆当ファンドは、主に国内外の株式や債券を投資対象としています。組入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組入れた株式や債券の発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクはお客様ご自身の負担になります。☆投資信託は預金ではないため、預金保険制度の対象にはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。元本の保証はありません。☆資料中のグラフ、表、その他データにつきましては、過去のデータに基づき基準日現在にて作成したものであり、将来を予測するものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：グローバルバランス30,40,50,国内重視バランス30,40,50

バランスファンドVA30A,40A,50A,30B,40B,50Bのマザーファンド

スペクタクル

日本株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ

●組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.02%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.58%
3	トヨタ自動車	輸送用機器	2.51%
4	日立製作所	電気機器	2.44%
5	ソニーグループ	電気機器	2.20%
6	東京エレクトロン	電気機器	2.17%
7	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.16%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.12%
9	リクルートホールディングス	サービス業	2.10%
10	アドバンテスト	電気機器	1.80%

●業種別内訳

項目	業種	2026/9/30
国内株式	[全体]	100.00%
	水産・農林業	0.07%
	鉱業	0.35%
	建設業	1.93%
	食料品	2.72%
	繊維製品	0.32%
	パルプ・紙	0.12%
	化学	4.45%
	医薬品	3.24%
	石油・石炭製品	0.51%
	ゴム製品	0.55%
	ガラス・土石製品	0.71%
	鉄鋼	0.68%
	非鉄金属	2.37%
	金属製品	0.46%
	機械	5.77%
	電気機器	20.99%
	輸送用機器	4.82%
	精密機器	1.72%
	その他製品	2.00%
	電気・ガス業	1.24%
	陸運業	1.79%
	海運業	0.64%
	空運業	0.26%
	倉庫・運輸関連業	0.13%
	情報・通信業	6.69%
	卸売業	7.50%
	小売業	3.65%
	銀行業	12.91%
	証券、商品先物取引業	0.98%
	保険業	3.53%
	その他金融業	1.19%
	不動産業	1.52%
	サービス業	4.20%

日本債券ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ

●組入上位10銘柄　2026/9/30

	投資比率	銘柄名	利率	償還日
1	1.42%	第158回利付国債(5年)	0.10%	2028/3/20
2	1.37%	第368回利付国債(10年)	0.20%	2032/9/20
3	1.37%	第359回利付国債(10年)	0.10%	2030/6/20
4	1.30%	第361回利付国債(10年)	0.10%	2030/12/20
5	1.30%	第363回利付国債(10年)	0.10%	2031/6/20
6	1.29%	第360回利付国債(10年)	0.10%	2030/9/20
7	1.28%	第371回利付国債(10年)	0.40%	2033/6/20
8	1.28%	第357回利付国債(10年)	0.10%	2029/12/20
9	1.28%	第367回利付国債(10年)	0.20%	2032/6/20
10	1.27%	第370回利付国債(10年)	0.50%	2033/3/20

＊なお、比率につきましては全てマザーファンドにおける現物資産の時価総額に対する比率を表示しております。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：グローバルバランス30,40,50,国内重視バランス30,40,50

バランスファンドVA30A,40A,50A,30B,40B,50Bのマザーファンド

スペクタクル

外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

●組入上位10銘柄

	銘柄名	投資国名	業種名称	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.12%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.67%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.21%
4	AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.80%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.35%
6	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.90%
7	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.88%
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.85%
9	MICRON TECHNOLOGY	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.41%
10	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.18%

●国別内訳

項目	国名	2026/9/30
外国株式	[全体]	100.00%
	<北米>	81.01%
	アメリカ	77.49%
	カナダ	3.52%
	<アジア・太平洋>	2.60%
	オーストラリア	1.62%
	香港	0.46%
	シンガポール	0.47%
	ニュージーランド	0.04%
	<ヨーロッパ>	16.10%
	イギリス	3.61%
	フランス	2.39%
	ドイツ	2.20%
	スイス	2.29%
	オランダ	1.52%
	イタリア	0.83%
	スペイン	1.02%
	スウェーデン	0.86%
	フィンランド	0.30%
	ベルギー	0.28%
	アイルランド	0.11%
	デンマーク	0.39%
	ノルウェー	0.16%
	ポルトガル	0.06%
	オーストリア	0.10%
	<アフリカ・中東>	0.30%
	イスラエル	0.30%

外国債券インデックス・マザー・ファンド

●国別構成比

項 目	国 名	国別構成比率（%）			修正デュレーション（年）		
		ファンド	ベンチマーク	差	ファンド	ベンチマーク	差
外国債券	[全体]	100.00%	100.00%	0.00%	5.98	5.97	0.01
	<北米>	46.47%	46.45%	0.02%			
	アメリカ	44.39%	44.36%	0.03%	5.42	5.41	0.01
	カナダ	2.08%	2.09%	−0.01%	6.23	6.14	0.08
	<南米>	0.85%	0.86%	−0.01%			
	メキシコ	0.85%	0.86%	−0.01%	5.05	5.10	−0.05
	<アジア・太平洋>	17.56%	17.55%	0.01%			
	オーストラリア	1.34%	1.35%	−0.01%	5.93	5.92	0.00
	ニュージーランド	0.29%	0.30%	−0.01%	5.75	5.78	−0.03
	シンガポール	0.38%	0.38%	−0.01%	8.52	8.49	0.03
	マレーシア	0.49%	0.49%	0.00%	7.42	7.45	−0.04
	中国	13.43%	13.41%	0.02%	5.50	5.50	0.00
	韓国	1.63%	1.62%	0.02%	8.67	8.66	0.00
	<ヨーロッパ>	34.68%	34.69%	−0.01%			
	イタリア	6.14%	6.13%	0.00%	5.84	5.82	0.01
	ドイツ	5.49%	5.50%	−0.01%	6.76	6.75	0.01
	フランス	6.87%	6.86%	0.01%	6.44	6.44	0.00
	イギリス	5.67%	5.70%	−0.03%	7.63	7.56	0.06
	スペイン	4.01%	4.00%	0.01%	6.54	6.52	0.01
	ベルギー	1.41%	1.41%	0.00%	7.63	7.61	0.01
	オランダ	1.16%	1.15%	0.01%	7.99	8.00	−0.01
	オーストリア	0.99%	0.98%	0.01%	7.86	7.92	−0.06
	デンマーク	0.20%	0.20%	0.00%	7.58	7.60	−0.03
	スウェーデン	0.18%	0.19%	−0.01%	5.53	5.55	−0.02
	フィンランド	0.52%	0.52%	−0.01%	7.03	7.00	0.03
	アイルランド	0.40%	0.39%	0.00%	7.59	7.58	0.01
	ポーランド	0.71%	0.72%	−0.01%	3.84	3.84	0.00
	ノルウェー	0.17%	0.17%	0.00%	5.55	5.54	0.01
	ポルトガル	0.56%	0.56%	0.00%	6.80	6.78	0.02
	スロバキア	0.20%	0.19%	0.01%	6.68	6.71	−0.03
	<アフリカ・中東>	0.44%	0.45%	−0.01%			
	イスラエル	0.44%	0.45%	−0.01%	6.21	6.20	0.01

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：マネー型

フィデリティ・マネー・プールVA

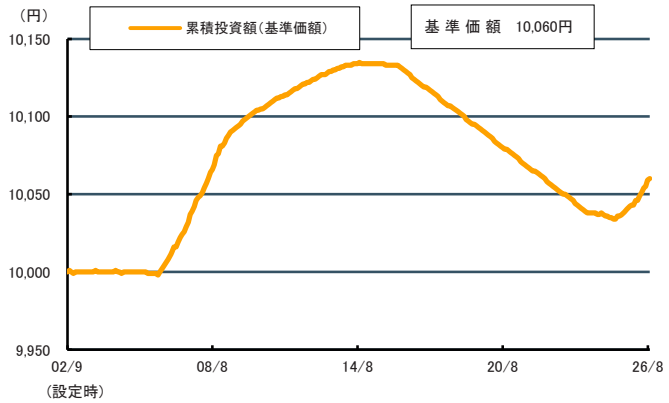
スペクタクル

◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

商品概要

形　態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設 定 日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決 算 日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定来の運用実績 (2026年9月30日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

純資産総額	55.9 億円 (2026年9月30日現在)

累積リターン (2026年9月30日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.01%	0.06%	0.14%	0.21%	0.17%	0.60%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円
第 24期(2025.12.01)	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース) (2026年8月31日現在)

	銘 柄	種類	格付	比率
1	1395国庫短期証券 2026/10/19	債券	A	41.0%
2	1385国庫短期証券 2026/09/07	債券	A	30.0%
3	1351国庫短期証券 2026/12/21	債券	A	12.4%
4	1400国庫短期証券 2026/11/16	債券	A	9.4%
5	1389国庫短期証券 2026/09/24	債券	A	5.3%
6	－	－	－	－
7	－	－	－	－
8	－	－	－	－
9	－	－	－	－
10	－	－	－	－

(組入銘柄数 ： 5)　上位10銘柄合計 98.1%
(対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2026年8月31日現在)

資産別組入状況

債券	98.1%
CP	－
CD	－
現金・その他	1.9%

組入資産格付内訳

長期債券格付	AAA/Aaa	－
	AA/Aa	－
	A	98.1%
短期債券格付	A-1/P-1	－
	A-2/P-2	－
現金・その他		1.9%

平均残存日数	45.48日
平均残存年数	0.12年

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信株式会社

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

募集代理店

PRESTÍA

株式会社SMBC信託銀行

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル　0120-125-104
https://www.ms-primary.com